

株式会社名光精機

愛知県津島市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「品質第一の精密機械加工を提供し、お客様の信頼を得、かつ地球環境の保全と社会に貢献する会社」を目指す企業

- 従来の測定結果の手書き記録からデジタル式マイクロメータに代替するIT化によりデータを一元管理
- 複数の加工機間を自動搬送するシステムや、組み立てと検査の工程を統合したインデックスマシンを内製
- 加工条件の管理、工具の選定、治具の開発・設計等により、超精密加工の量産が特長

企業基本情報

所在地	愛知県津島市鹿伏兎町西清水 47
電話/FAX	0567-33-2311/0567-32-0900
URL	http://meikoseiki-ltd.co.jp
代表者	代表取締役 松原 光作
設立	2002年
資本金	3,000万円
従業員数	300人



会社概要

超精密切削加工メーカー。超精密加工の量産（月産 600 万個）を得意とし、A/T 制御用リニアソレノイド部品では 2016 年度も世界のトップシェア。創業 15 年強で売上高 136 億円を超える成長。さまざまな分野に携わる開発力、超精密加工を機械化できる技術力、自社開発の自動検査ラインと女性中心で構成する検査部門で維持されるクオリティで、高い評価を得ている。一方、海外へのグローバル展開も合併会社設立や M & A で事業譲渡を受けるなどを積極的に進めている。

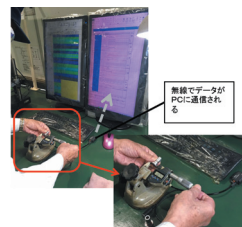


オートマチックトランスミッションと搭載されている当社製品

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

測定を手作業からデジタル式に代替し、固定費削減、品質向上

製品の品質管理において、従来の測定結果の手書き記録から測定器のデータをパソコンへの直接入力に切替えることで、入力ミス・漏れ、入力時間等を削減すると共に、これらのデータを一元管理し社内ネットワークを介して各部門に情報展開している。そうすることで各部門は日々の品質状況を把握し速やかに改善すると共に、データ分析を行って品質指標を明確にして改善活動に結び付けている。このような緻密な品質管理を日々実施することで、同社の強みである超精密切削加工技術の向上を図っている。



測定データをパソコンへ直接入力

工程の自動化を積極的に進めて業務を効率化

リニアソレノイド部品の加工ラインは、素材のライン搬入から加工・検査・洗浄・箱詰めまでの全工程を自動化し徹底した省人化を図っている。加工工程では独自の特許工法を駆使した加工機と治具を採用、重要寸法箇所は加工後計測工程を設けて良品のみ後工程へ、加工終了後には自社設計・製作の洗浄工程を経た後製品の箱詰めを実施。これらの工程間は自動搬送装置で連結し全自動ラインとしている。この他にも組立と検査工程を統合したインデックスマシンを内製化し自動化を実現している。



自動搬送システムを搭載して複数の加工行程を連結

研磨レベルのミクロン単位の切削加工を月産 600 万個生産

超精密切削加工技術力を活かして A/T 制御用リニアソレノイド部品を生産。同部品は、車の速度に合わせトランスミッションの多段変速ギヤを最適なギヤ比に最適制御するものであり、ミクロン単位の精度が必要。そのために独自の加工ライン、加工条件・切削工具の設定と管理、治具の開発・設計等により、切削加工において研磨レベルのミクロン単位での加工を可能とした。主力製品のスリーブとコアの加工方法は特許を取得するなど、独自の製造方法開発にも注力している。



ミクロン単位での切削加工を行った製品群